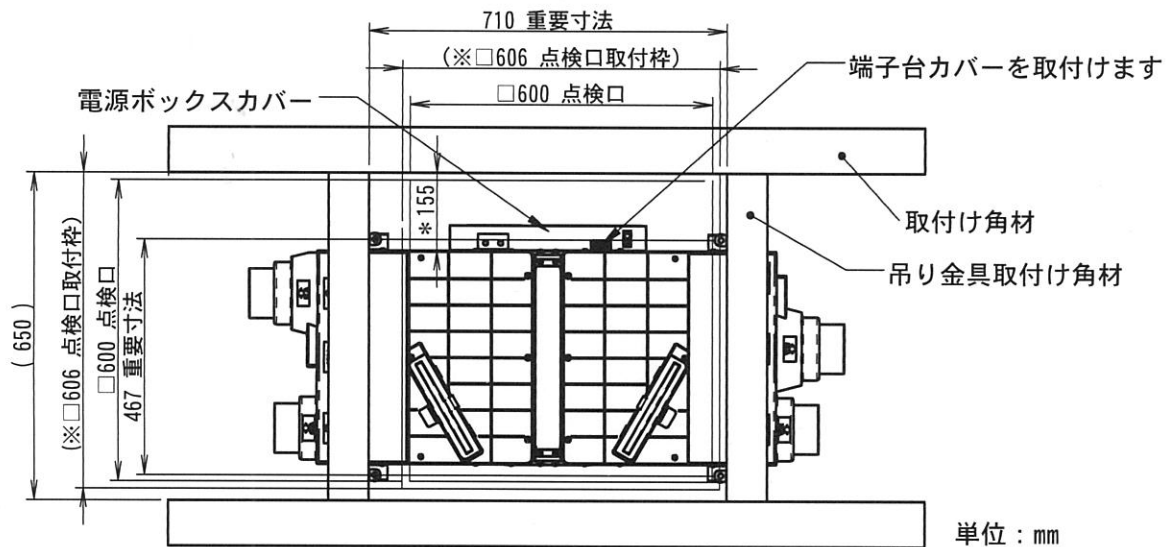


反転設置取付け方法 1

1. 吊り金具を使用した場合（別売り 吊り金具セットを使用）

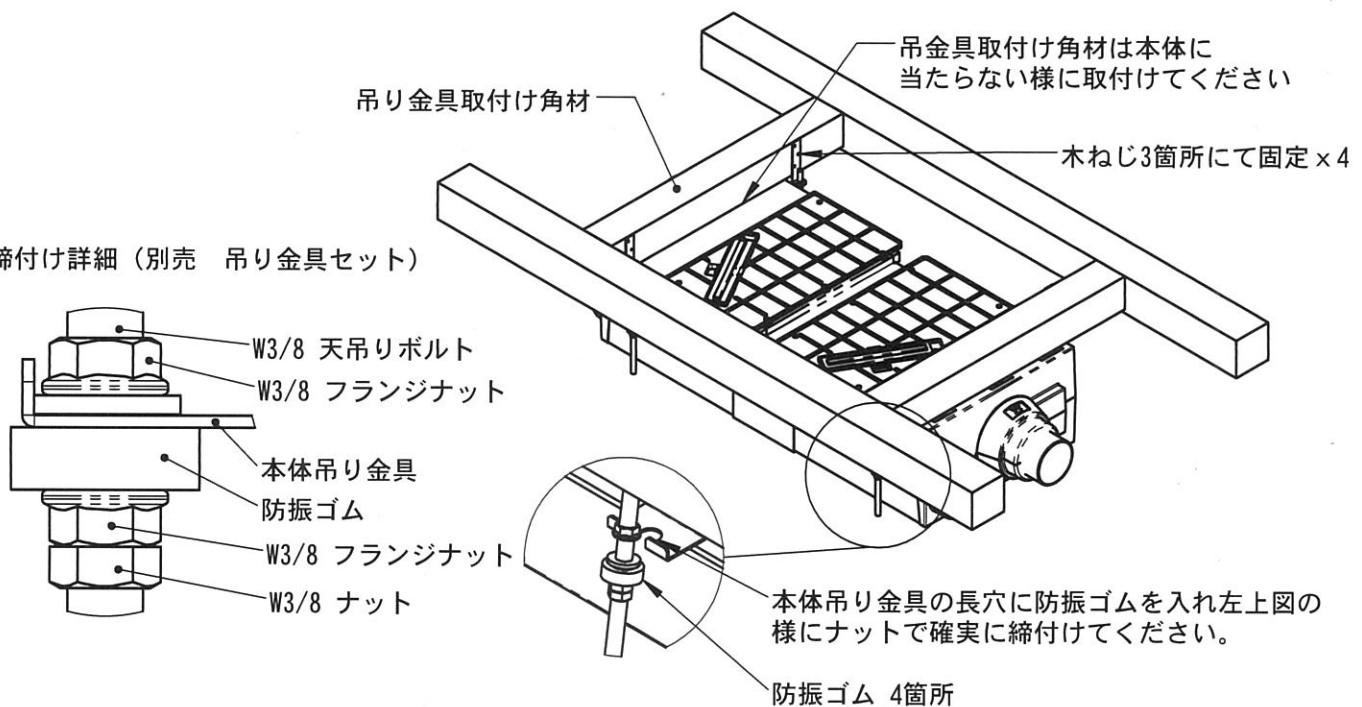
- 本体の吊り金具取付位置に取付角材を作成してください。(710mmx467mm)
- 吊り金具を本体の取付寸法を確認して市販の木ねじ等で取付け角材に取り付けます。4本
- 取付けた吊り金具を本体吊り金具の長穴に防振ゴムを入れフランジナット、ナットで本体を水平にして確実に締付け固定します。
- 点検口は□600mmを使用し電源ボックスカバーを開けメンテナンスが出来る*155mmの空間を必ずあけてください。（下記図）
点検口を開けフィルター清掃も行います。
- 本体と点検口の隙間は50~100mmあけて設置してください。
- 本体の設置は勾配1/50以下としてください。
- 本品の端子台にほこりが付着しない様端子台カバーを取付けます。詳しくは-4-「端子台カバー取付け方法」を参照して取付けてください。

取付寸法及び点検口



※□606は床下点検口取付枠の参考寸法です。種類によって異なりますので点検口取付枠寸法をご確認ください。

吊りボルト締付け詳細（別売 吊り金具セット）

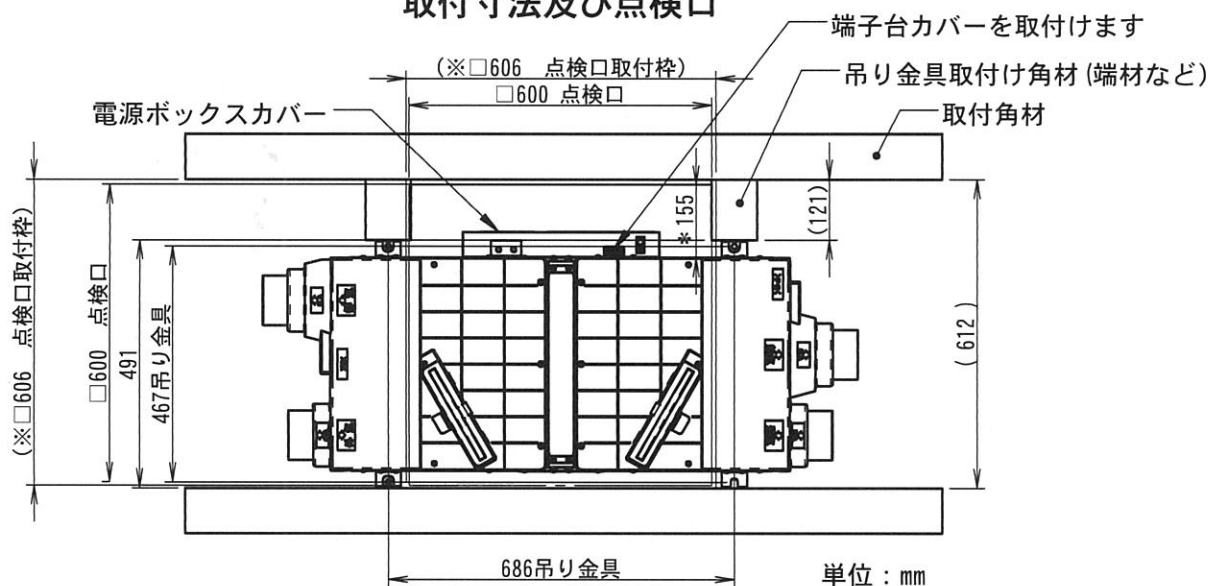


反転設置取付け方法 2

1. 吊り金具を使用した場合（別売り 吊り金具セットを使用）

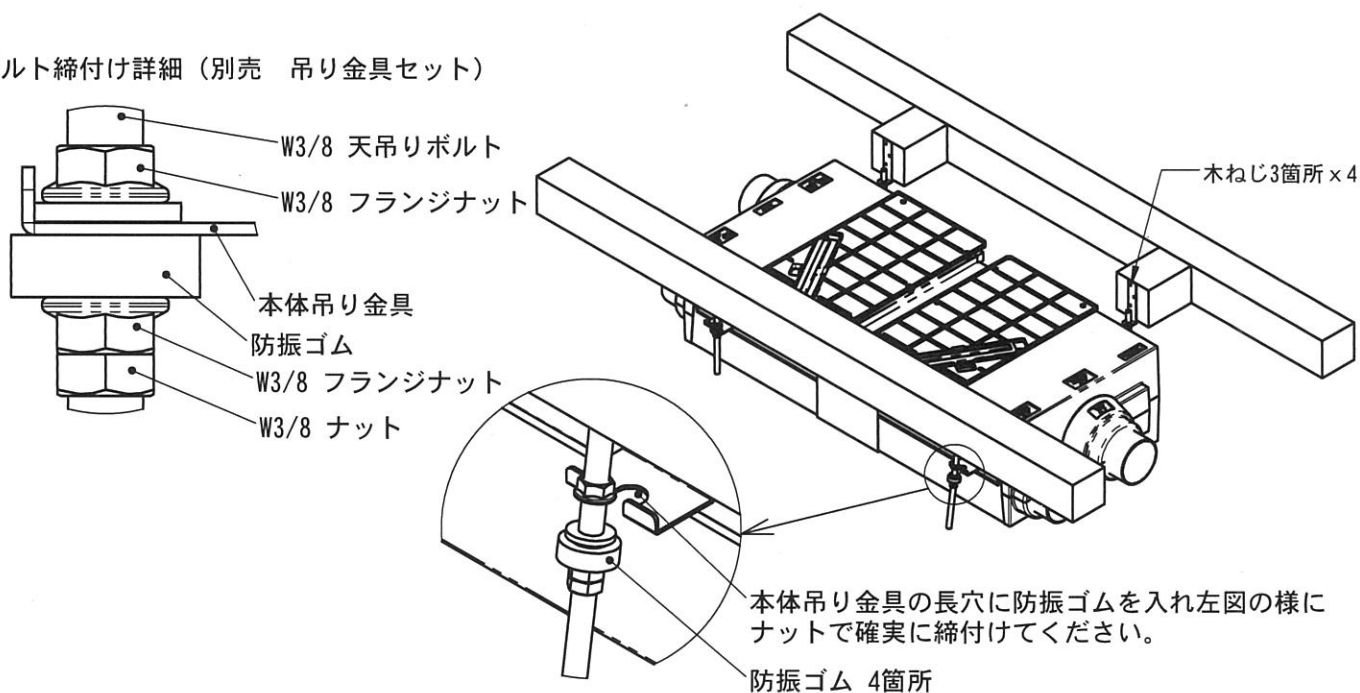
- 本体の吊り金具取付位置に取付角材を作成してください。
吊り金具取付寸法686mm×467mmがセンターになる様に角材を取付けます。
- 吊り金具を本体の取付寸法を確認して市販の木ねじ等で取付枠に取付けます。4本
- 取付けた吊り金具を本体吊り金具の長穴に防振ゴムを入れフランジナット、ナットで本体を水平にして確実に締付け固定します。
- 点検口は□600mmを使用し電源ボックスカバーを開けメンテナンスが出来る*155mmの空間を必ずあけてください。（下記図）
点検口を開けフィルター清掃も行います。
- 本体と点検口の隙間は50～100mmあけて設置してください。
- 本体の設置は勾配1/50以下としてください。
- 本品の端子台にほこりが付着しない様、端子台カバーを取付けます。詳しくは-4-「端子台カバー取付け方法」を参照して取付けてください。

取付寸法及び点検口



※606は床下点検口取付枠の参考寸法です。種類によって異なりますので点検口取付枠寸法をご確認ください。

吊りボルト締付け詳細（別売 吊り金具セット）



点検口は本体の上部より50～100mmの隙間空間をあけて設置してください。
 フィルター清掃、電源ボックスカバーより部品のメンテナンスを行います。
 本体から基礎スラブは50mm以上空間をあけて設置してください。
 本体は取付枠や基礎スラブに絶対に干渉しないように取付けてください。
 干渉すると振動、異音の原因になります。
 下記寸法は反転設置取付け方法1, 2共通です。
 本図は反転設置取付け方法2の設置例です。



電源ボックスカバー

※ □ 606 取付枠寸法
□ 600 点検口

※155

OAフィルター蓋

RAフィルター蓋

単位：mm

※606は床下点検口取付枠の参考寸法です。種類によって異なりますので点検口取付枠寸法をご確認ください。

端子台カバー取付け方法

上向きについている端子台にほこりが入りトラッキングの恐れがあります。
必ず端子台カバーを取付けてください。

端子台カバーは反転設置用のオプションパーツとなります。

品番：KS1108 端子台カバー、パッキン、グロメットが同梱してあります。

